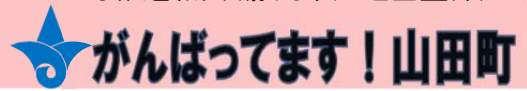




山田まちだより

平成 27 年 4 月号(通算第 14 号)
山田町派遣職員(静岡県交通基盤部)より



平成 27 年度静岡県派遣職員が山田町に着任しました!

本年度、山田町には静岡県職員が 4 名派遣され、うち 3 名が交通基盤部からの職員です。

これから、山田町の復旧、復興を進めるとともに、静岡県派遣職員としてしっかりと勉強し、情報発信していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

織笠漁港防潮堤現場にて

(左から河村、山本、中戸川)



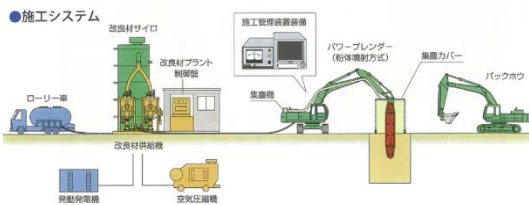
織笠漁港防潮堤災害復旧工事が最盛期を迎えています!



パワーブレンダー工法による軟弱地盤改良施工状況

織笠漁港海岸では、被災した防潮堤の災害復旧工事を行っています。

全事業区間L=1.4kmのうち、平成 26 年 3 月に契約した約 740mの間では工事の最盛期を迎えており、現在は、防潮堤を被覆するコンクリートの打設のほか、「パワーブレンダー工法(粉体噴射方式)」による防潮堤基礎地盤の軟弱地盤改良工事を行っています。



パワーブレンダー工法施工イメージ図

仮設住宅の集約化を進めています!

山田町では、東日本大震災の津波により住居を失った人のために、町内の 46 地区に仮設住宅を建設しました。

昨年度まで、静岡県派遣職員は山田町役場から約 16km 離れた宮古市内の仮設住宅に住んでいました。しかし、災害公営住宅の整備等により、町内の仮設住宅に空きができたため、本年度から、役場から約 5km の浜川目仮設住宅に住むことになりました。

山田町は公共事業用地の確保、仮設住宅維持管理費用の軽減等のため、仮設住宅の集約を進めています。これまでに、1 地区の仮設住宅の規模を縮小し、本年度中には更に 1 地区を廃止する予定です。



防潮堤施工現場状況 (4月8日)



静岡県派遣職員が住む浜川目仮設住宅

発行:岩手県山田町 水産商工課水産チーム
山本庸介・中戸川達矢・河村健春(静岡県交通基盤部派遣職員)